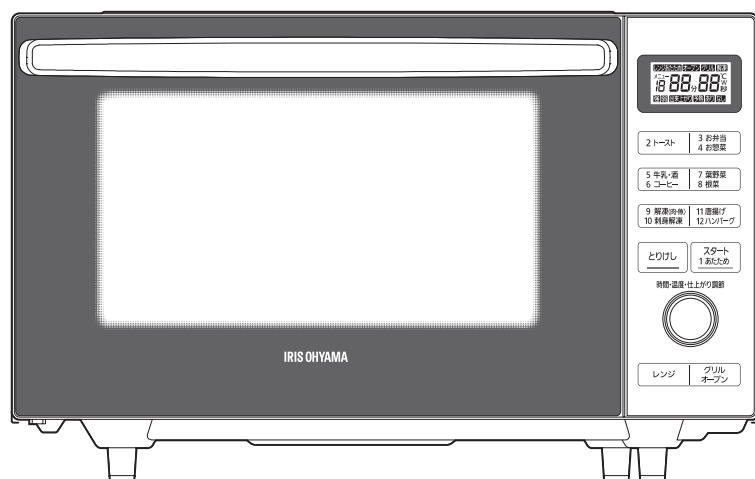


スチームオーブンレンジ

MO-F1806

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	6
加熱のしくみ	7
使える容器・使えない容器	8
各部の名称	10

取り扱いかた

準備	13
使いかた 基本	15
使いかた 1 あたため	16
使いかた 自動メニュー	
2 トースト	17
3 お弁当、4 お惣菜、5 牛乳・酒、6 コーヒー ...	18
7 葉野菜、8 根菜	19
9 解凍 (肉・魚)、10 刺身解凍	20
11 唐揚げ、12 ハンバーグ	21
自動メニュー一覧	23
使いかた 手動メニュー	
レンジ	24
グリル	27
オーブン	28
お手入れ	31

こんなときには

故障かな?と思ったら	32
仕様	34
保証とアフターサービス	35
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。

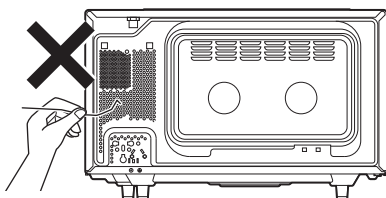


危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 吸気口・排気口や製品のすきま、庫内の開口部に、異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用后1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

● アースを必ず取り付ける

故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



● 水気が多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する

水気が多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）

詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



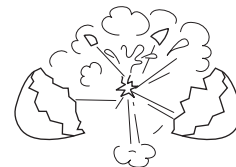
● アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない

爆発・火災の原因になります。

レンジ加熱時は



- 卵は必ず黄身まで割りほぐしてから加熱する
- 殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる
- びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する
破裂して、けがややけどの原因になります。

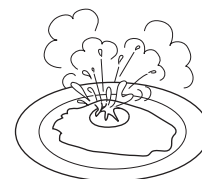


- 乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かきまぜて温度を確認する
やけどのおそれがあります。



- 缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない
破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。

- ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない
爆発して大変危険です。



加熱中は



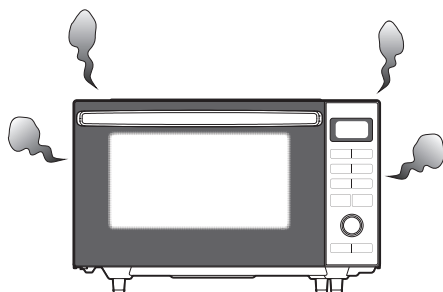
● 加熱中はそばを離れない

食品が発煙・発火することがあるので、注意してください。



● 繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する

ラップをする、加熱しすぎないなど注意して調理してください。



- 屋外で使えない
- 壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使えない
- 畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使えない
火災の原因になります。

飲みものなどの加熱時は



- 加熱しすぎないように注意する
- 加熱前・加熱後はスプーンなどでかきまぜる
- 広口で背の低い容器に8分目まで入れる
飲みものや油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱しすぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。



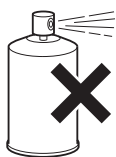
水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 扉に無理な力を加えない
変形して電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吸気口・排気口をふさがない
火災の原因になります。



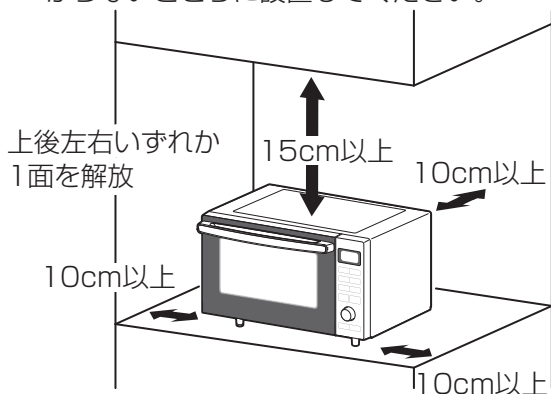
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

安全に設置する



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。



- 肩より高い位置に設置しない
食品を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。



- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない
感電や電波もれによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。
- 扉にもものをはさんだまま使用しない
誤動作して、電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



- 衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない
火災や異常動作の原因になります。
- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。



- 本体の上にもものを置かない
- 本体の下にもものを置かない
火災の原因になります。

加熱禁止



- レンジで金属容器や金串、アルミホイルは使用しない
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
- 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない
火災の原因になります。
- 庫内が空のままレンジ加熱しない
過熱して火災の原因になります。

食品が発煙・発火した場合は



- 扉を開けない
食品が発火した場合は、すぐに加熱を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。



- 庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波もれなど危険な状態になるおそれがあります。

加熱中・加熱後は



接触禁止

- 高温になっている部分にさわらない
加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

- ラップを外すときは注意する
蒸気でやけどするおそれがあります。



プラグを抜く

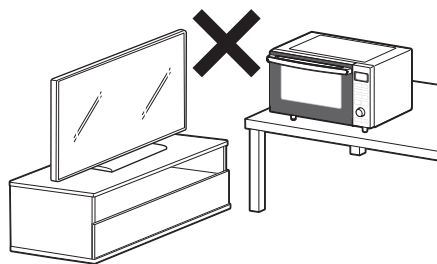
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 電源コードは本体の下を通さない
火災の原因になります。

使用上の注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 無線LAN機器から4m以上離してください。
無線LANの通信機能が低下する場合があります。
- 扉を閉めた状態で、何も操作をしないで約5分経過すると、電源が切れます。
- このレンジは、ボタンを操作するとお知らせ音が鳴ります。加熱終了も音でお知らせします。
- 取り忘れ防止のために、加熱終了後扉を開けないと「ピーッ」と5回鳴ってお知らせします。
(扉を開けるまで、消灯しても1分ごとに鳴りつづけます。)

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

加熱のしくみ

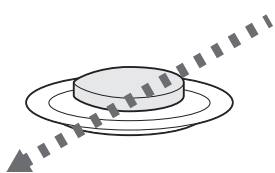
本製品は、レンジ加熱・ヒーター加熱の機能を持った調理器です。

レンジ加熱

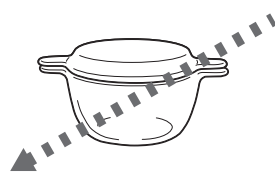
庫内に電波が放射されると、食品に含まれる水分子に吸収され加熱されます。



水分のある食品は電波を吸収します。



水分が凍っていると電波が吸収されにくくなります。



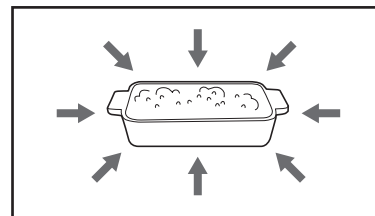
ガラス容器、陶器などは電波が透過し、吸収されません。



金属製の器は電波を反射します。
(火花が出ることがあります。)

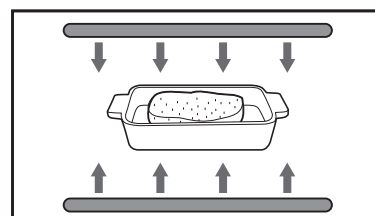
ヒーター加熱（オーブン）

上下にあるヒーターで庫内の温度を一定に保ち、じっくり焼き上げます。中までよく火を通したいときに使います。



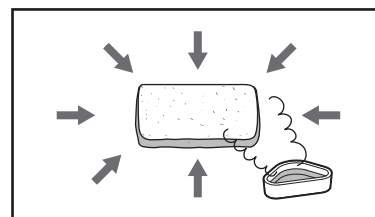
ヒーター加熱（グリル）

上下にあるヒーターで、高温で一気に焼き上げます。火の通りやすいものや、表面に焦げ目をつけたいときに使用します。

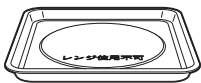
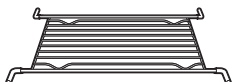
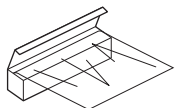


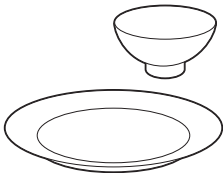
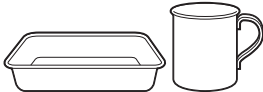
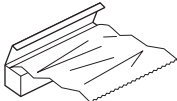
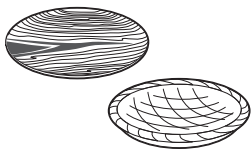
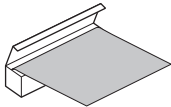
カップスチーム調理

ヒーター加熱（グリル／オーブン）時に、付属のスチーム用カップに水を入れて庫内に置くと、スチーム調理や、スチームトーストなどができます。



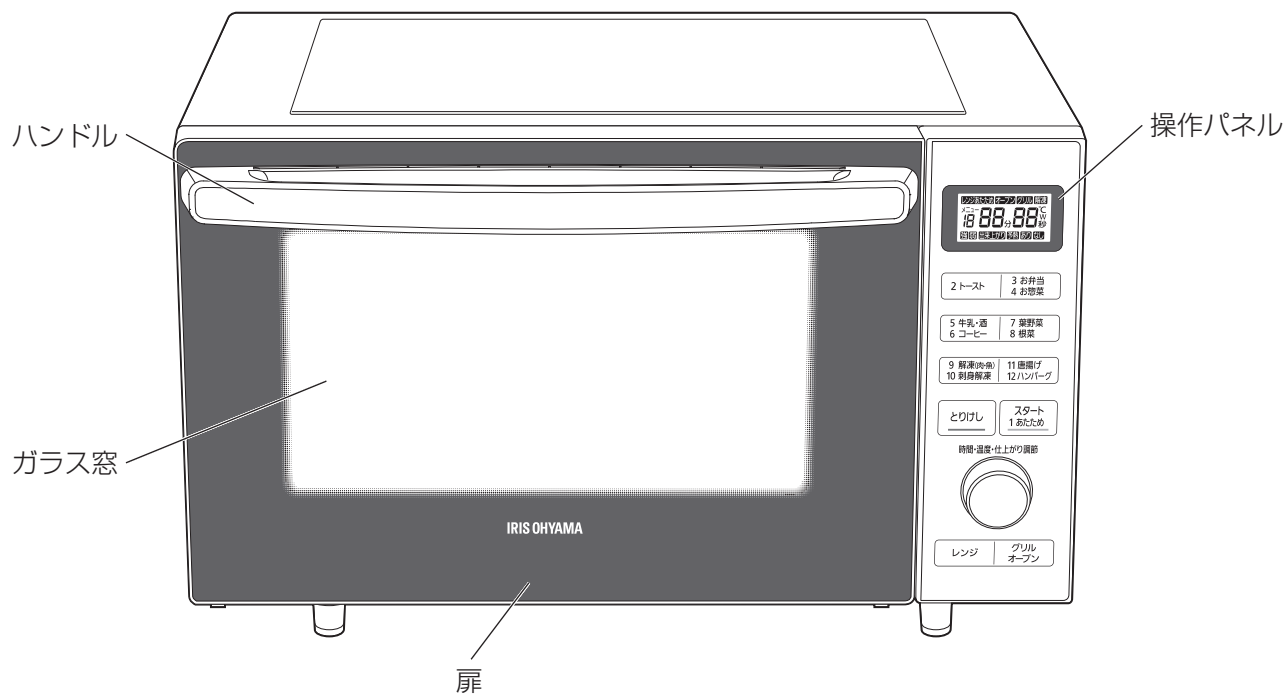
使える容器・使えない容器

容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
付属の角皿 		✕ 使えません	○ 使えます ・ 付属の角網をセットして、上に載せて使用します。
付属の角網 		✕ 使えません	○ 使えます ・ 付属の角皿を上に乗せて使用します。
付属のスチーム用カップ 		✕ 使えません	○ 使えます ・ カップスチーム調理に使用します。 (使用するときは、必ず水を入れてください。)
ガラス	耐熱性がある 	○ 使えます ・ ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	耐熱性がない 	✕ 使えません ・ カットグラス・強化ガラスも使えません。	
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ 「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・ 金属ねじを使用しているものは使えません。	✕ 使えません
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	✕ 使えません ・ 耐熱性容器でも、ふたは耐熱性でないことがあるので確認してください。 ・ 熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリエチレン (PE) など) ・ ただし、レンジ加熱の解凍では使えます。	
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ ただし、油分や糖分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。	✕ 使えません

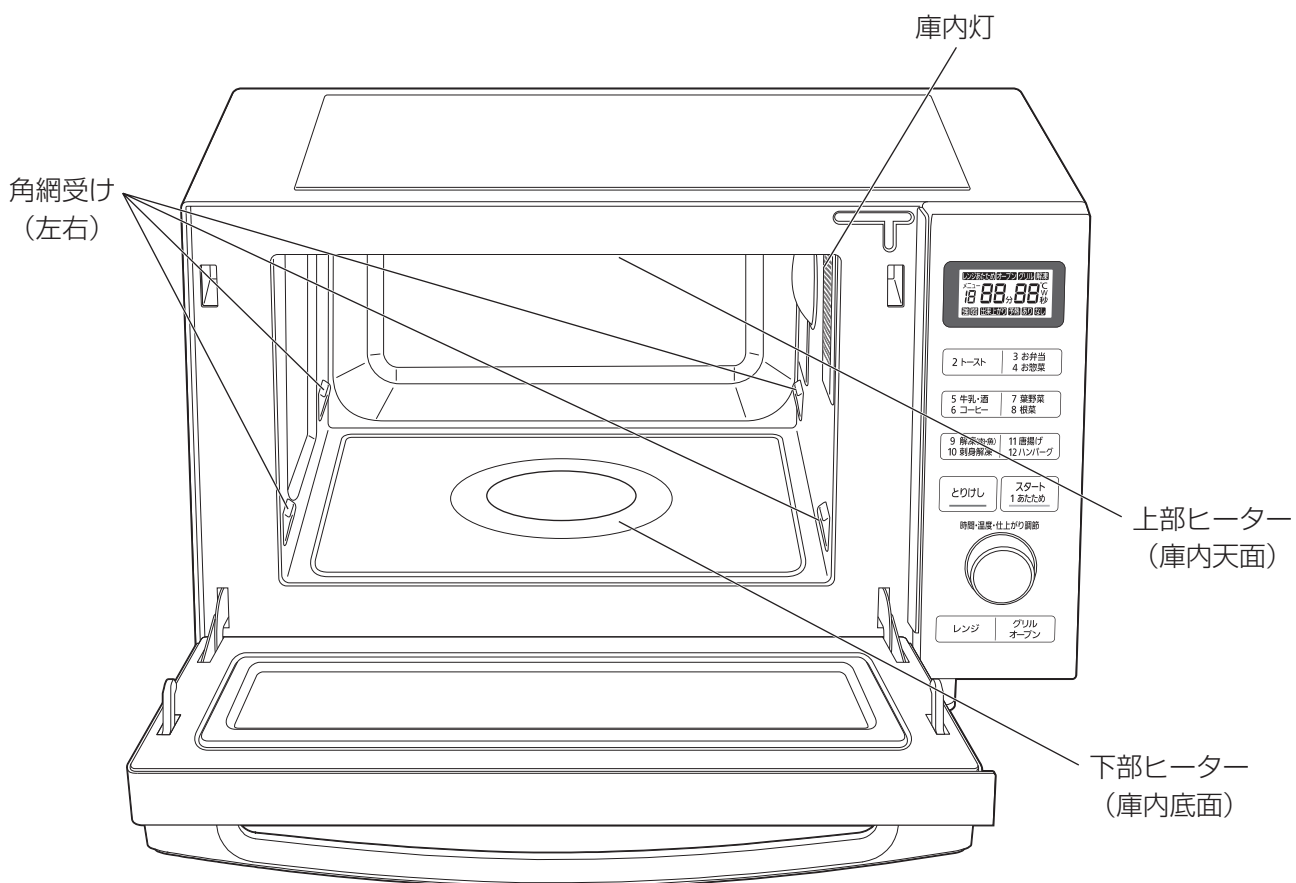
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
陶磁器	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性がない 		✕ 使えません
金属	アルミ・ほうろうなどの金属容器 	✕ 使えません ・金串、金網、金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使えません。	○ 使えます
	アルミホイル 	✕ 使えません ・放電・火花・過熱・やけどの原因になります。	○ 使えます ・ただし、ヒーターに直接触れないようにしてください。また、必ず付属の角皿の上で使用してください。
紙・木・竹	漆器 	✕ 使えません ・塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。	
	紙・木・竹 	✕ 使えません ・加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 ・釘や針金など金属を使用しているものは使えません。	✕ 使えません
	クッキングペーパー クッキングシート クッキングバッグ 	○ 使えます ・ただし、加熱しすぎると燃えたりすることがあります。	⚠ 注意 ・発煙・発火することがあるので、注意して使用してください。

各部の名称

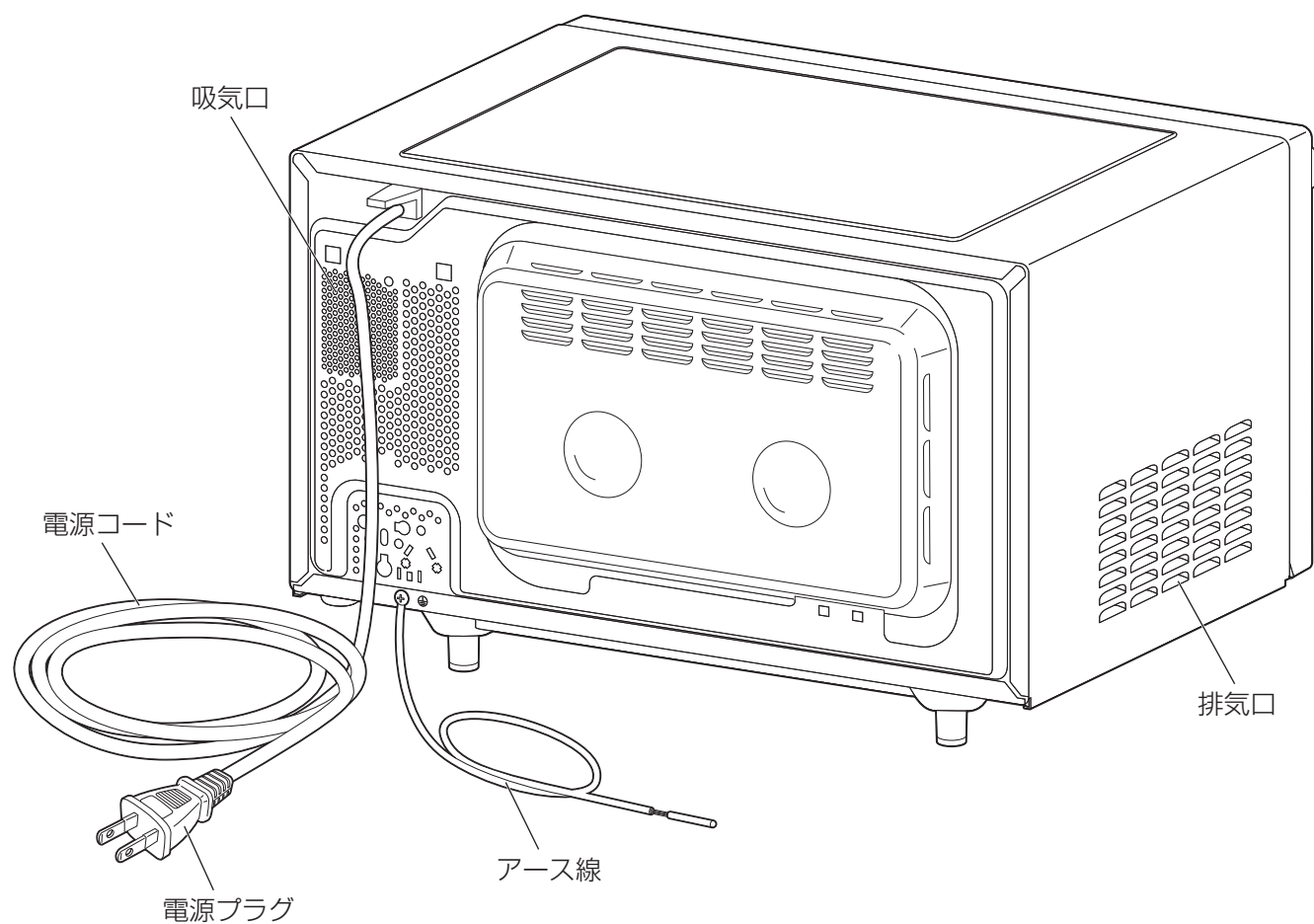
■正面



■庫内

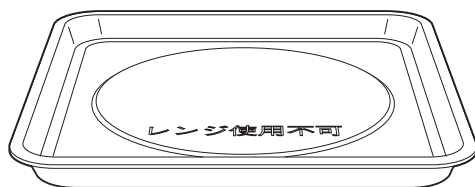


■背面

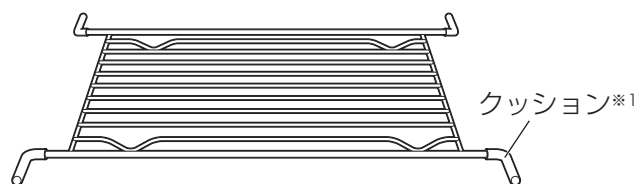


■付属品

角皿（金属製）



角網（金属製）



※1 シリコンのクッションは、外さずそのまま使用してください。

※ 角皿を使用するときは、角網をセットして、その上に載せてください。

スチーム用カップ

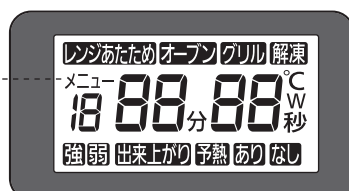


各部の名称 つづき

■操作パネル

表示部

加熱時間やメニュー番号などが表示されます。



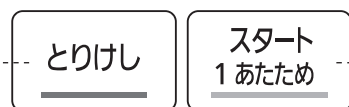
自動メニューボタン

自動メニューを選びます。ボタンを押すたびに、メニュー番号や量の表示が切り替わります。(→P16～22)



とりけしボタン

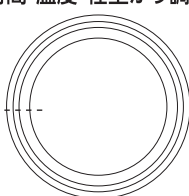
設定を取り消したり、加熱を途中で止めるときに押します。(→P15)



時間・温度・仕上がり調節つまみ

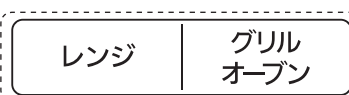
時間、温度、仕上がり調節の設定に使用します。

時間・温度・仕上がり調節



スタート (1 あたため) ボタン

メニューを選ばずにスタートボタンを押すと、レンジあたためで30秒間のあたためがスタートし、ボタンを押すごとに30秒間延長されます。(→P16)
メニューを選んだ後にスタートボタンを押すと、加熱がスタートします。
予熱なしのオープンでは、温度設定後に押すと、時間設定できます。(→P30)



手動メニューボタン

手動で加熱するときに、加熱の種類を選びます。(→P14、24、27、30)

準備

■設置

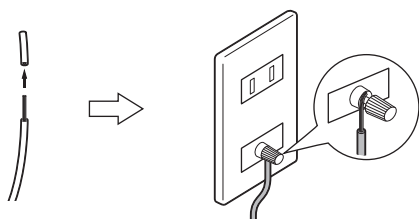
1 4ページの「安全に設置する」にしたがって、設置する

- 本体価格には工事費は含まれていません。

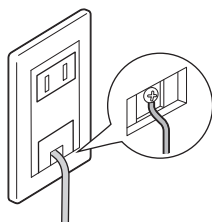
2 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

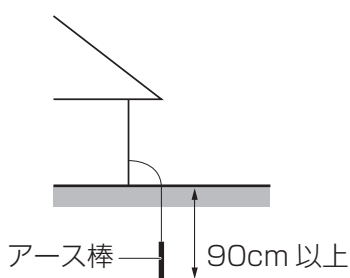


- ふた付きの場合は開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

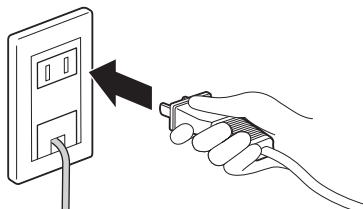
- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

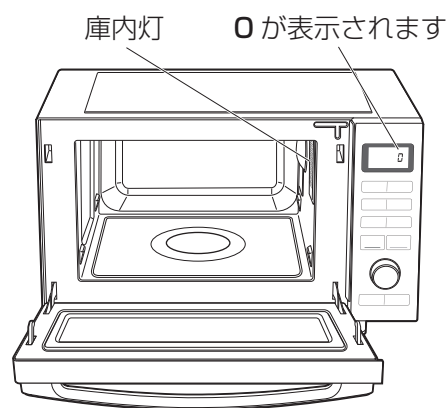


■から焼き

- ヒーター加熱（オーブンまたはグリル）を初めて使用するときに、煙やにおいが出ることがあるので、使用を始める前から焼きしてください。
- から焼きするときは、必ず換気してください。また、小鳥や小動物は別な部屋に移してください。

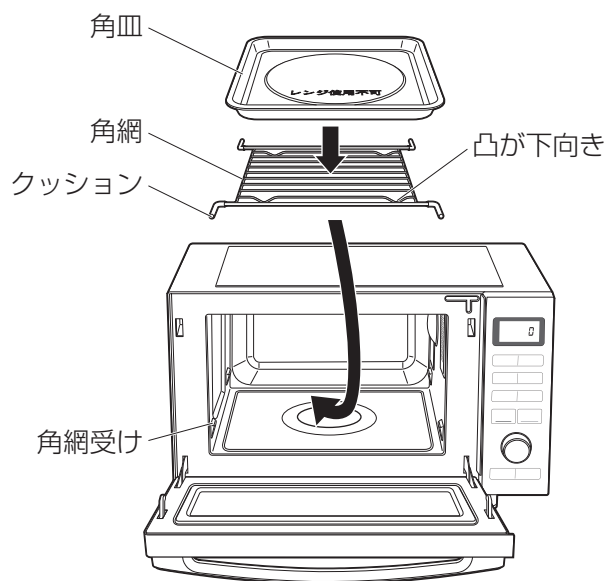
1 扉を開ける

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。



2 角網を庫内の角網受けに載せ、その上に角皿を載せて、扉を閉める

- 角網は、凸部を下に向け、シリコンのクッション部を庫内の角網受けに載せてください。
- 扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品は入れずに扉を閉めます。



準備 つづき

3 グリル／オーブンボタンを2回押して、予熱なしのオーブンを選ぶ

- ・ オープン・予熱・なし・170℃が表示されます。



※ 操作を取り消すとき、または加熱を途中で止めるときは、とりけしボタンを押してください。

4 時間・温度・仕上がり調節つまみで、温度を200℃に設定する

時間・温度・仕上がり調節



5 スタートボタンを押す

- ・ 時間設定表示に切り替わります。



6 時間・温度・仕上がり調節つまみで、時間を20分に設定する

時間・温度・仕上がり調節



7 スタートボタンを押す

- ・ から焼きが開始され、残り時間が表示されます。



- ・ 加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って**出来上がり**が表示されます。

※ 1回のから焼きでにおいを取り切れない場合でも、何度か加熱をすると、においはしなくなります。

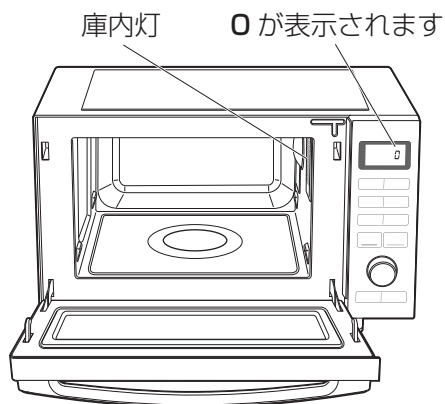


注意

- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面、角網・角皿が熱くなるので、やけどに注意してください。

■電源を入れるには

- ・扉を開けると電源が入ります。
- ・扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。



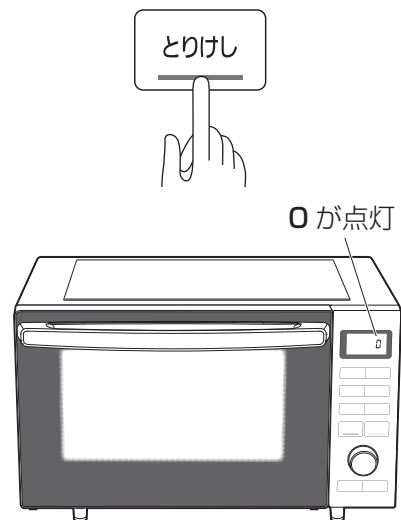
■操作を取り消すには

- ・操作中にとりけしボタンを押すと、操作は取り消されて最初の状態に戻ります。
- ・1分間何も操作をしなかった場合も、それまでの操作は取り消されます。



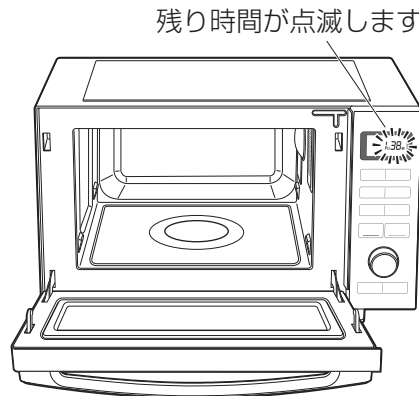
■加熱を停止するには

- ・加熱中にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。
- ・一時停止中にとりけしボタンを押したときも、加熱は停止して最初の状態に戻ります。



■加熱を一時停止するには

- ・加熱中に扉を開けると、加熱は一時停止します。



加熱を再開するには

- ・扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱が再開します。



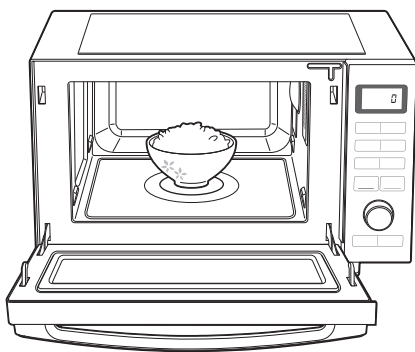
使いかた 1 あたため

- レンジ加熱を使用します。付属の角網・角皿・スチーム用カップ、金属の容器、アルミホイルは使えません。(→P8～9)

スタートボタンを押すだけの簡単あたため機能です。

1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内にセットします。
- ・食品は、できるだけ庫内中央に、均等に配置してください。



※ごはんをあたためるときは、ラップをせず、かための場合は水をふりかけてください。



警告

- 弁当は、調味料の容器・丸ごとのゆで卵・アルミカップなどは取り出してから加熱してください。

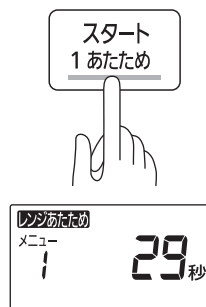


注意

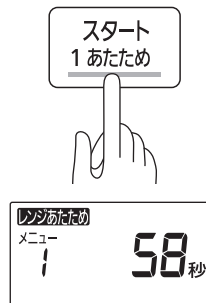
- 飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかきまぜてください。

2 スタート (1 あたため) ボタンを押す

- ・レンジあたためで30秒間の加熱がスタートします。残り時間が表示されます。



- ・加熱中にスタートボタンを押すたびに、加熱時間が30秒延長されます。(最大5分まで)



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- ・加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。



注意

- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 自動メニュー (2 トースト)

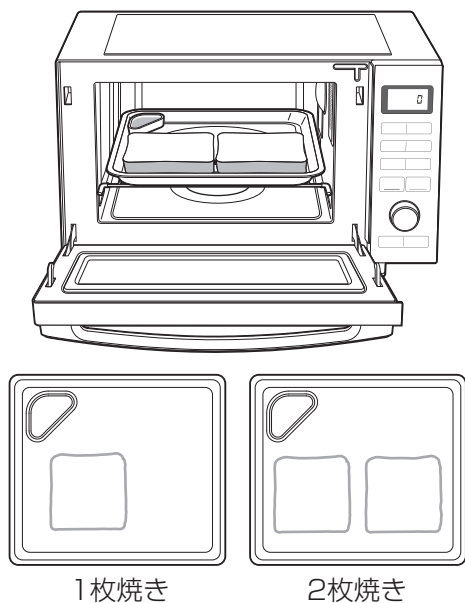
付属のスチーム用カップに水を入れて使用すると、蒸気を供給することにより、外はカリッと、中はもっちりとしたスチームトーストを焼くことができます。(2枚まで)

●付属の角網・角皿・スチーム用カップを使用します。

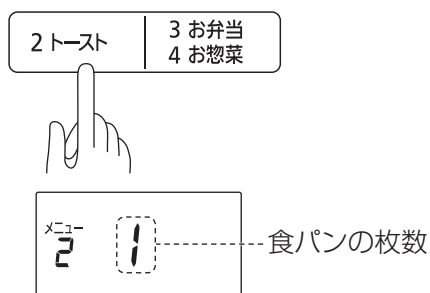
食パンの枚数に応じてトーストを焼きます。

1 食パンと、水を入れたスチーム用カップを角皿に載せ、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 角網は、凸部を下に向け、シリコンのクッション部を庫内の角網受けに載せてください。
- スチーム用カップに水を入れ、角皿の左奥にセットしてください。
- 水は、約8g (小さじ 1 1/2) 入れてください。
- 食パンはスチーム用カップを避けて、2枚まで並べることができます。



2 2 トーストボタンを押して、2-1 (食パン1枚) または 2-2 (食パン2枚) を選ぶ

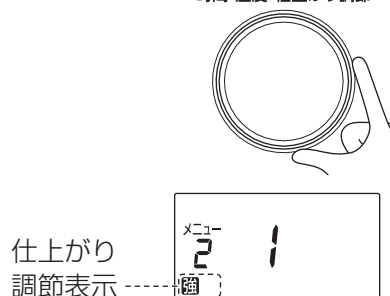


- ※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて時間・温度・仕上がり調節つまみで仕上がり (焼き色) を調節する

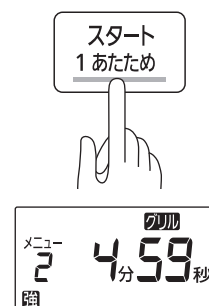
- 時間・温度・仕上がり調節つまみを、左に回すと強に、右に回すと弱になります。
- 標準は6枚切りです。8枚切りや4枚切りなどは、厚さに応じて調節してください。
- 糖分や油脂分の多いパンは濃く焼けるなど、パンの種類や大きさによって焼き色が変わります。仕上がりをしながら調節してください。

時間・温度・仕上がり調節



4 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- 扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- 加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。
- 焼き加減が足りないときは、手動メニューのグリル (→P27) を使用して、焼き加減を見ながら追加加熱してください。



注意

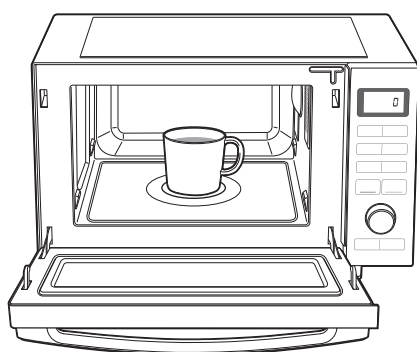
- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。

使いかた 自動メニュー（3 お弁当、4 お惣菜、5 牛乳・酒、6 コーヒー）

- レンジ加熱を使用します。付属の角網・角皿、金属の容器・スチーム用カップ、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品または飲みものを耐熱性の容器に入れて庫内にセットします。
- ・食品または飲みものは、できるだけ庫内中央に、均等に配置してください。



警告

- 弁当は、調味料の容器・丸ごとのゆで卵・アルミカップなどは取り出してから加熱してください。

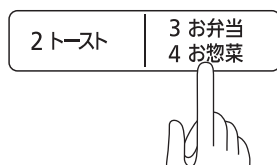


注意

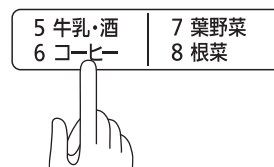
- 飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかきまぜてください。

2 メニューを選ぶ

- ・3 お弁当／4 お惣菜ボタンまたは5 牛乳・酒／6 コーヒーボタンを押すたびにメニューが切り替わります。
- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。



表示	ボタン	メニュー	加熱できる目安
メニュー 3	3 お弁当	お弁当 あたため	約400g
メニュー 4	4 お惣菜	お惣菜 あたため	約200g

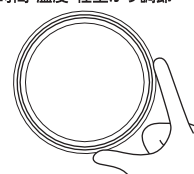


表示	ボタン	メニュー	加熱できる目安
メニュー 5	5 牛乳・酒	牛乳・酒 あたため	1杯 (約180mL)
メニュー 6	6 コーヒー	コーヒー あたため	1杯 (約150mL)

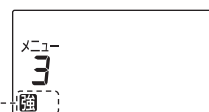
3 必要に応じて時間・温度・仕上がり調節つまみで仕上がり調節する

- ・時間・温度・仕上がり調節つまみを、左に回すと強に、右に回すと弱になります。

時間・温度・仕上がり調節



仕上がり
調節表示



4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。
- ・加熱が足りないときは、手動メニューのレンジあたため 強（→P24）を使用して、加減を見ながら追加加熱してください。



注意

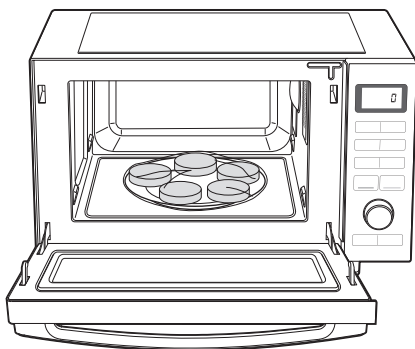
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 自動メニュー（7 葉野菜、8 根菜）

- レンジ加熱を使用します。付属の角網・角皿、金属の容器・スチーム用カップ、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

1 食品を入れて扉を閉める

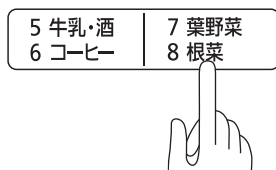
- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品は、耐熱性の容器にできるだけ重ならないように並べ、ラップでおおって、庫内中央にセットします。



- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花が出ることがあります。100gより少ないときは、手動のレンジあたためを目安にしてください。（→P25）

2 7 葉野菜／8 根菜ボタンでメニューを選ぶ

- ・ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



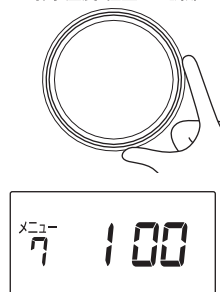
表示	ボタン	メニュー	加熱できる目安
メニュー 7	7 葉野菜 8 根菜	ゆで野菜 (葉野菜)	約100～ 300g
メニュー 8		ゆで野菜 (根菜)	約100～ 300g

- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・温度・仕上がり調節つまみで量を設定する

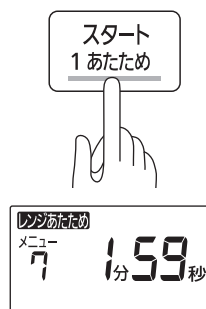
- ・100～300 (g) の範囲で、100g単位で設定できます。

時間・温度・仕上がり調節



4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。
- ・加熱が足りないときは、手動メニューのレンジあたため 強（→P24）を使用して、加減を見ながら追加加熱してください。



注意

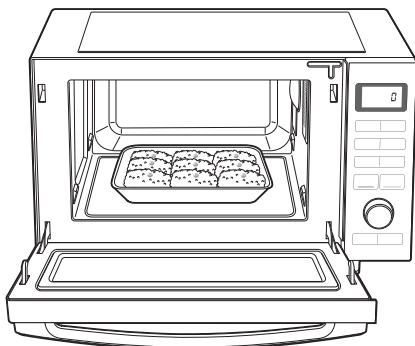
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 自動メニュー（9 解凍（肉・魚）、10 刺身解凍）

- レンジ加熱を使用します。付属の角網・角皿、金属の容器・スチーム用カップ、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

1 食品を入れて扉を閉める

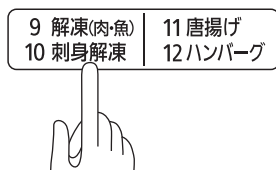
- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
 - ・食品のラップは外し、発泡スチロールのトレーに載せたまま庫内に入れます。
 - ・発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
 - ・食品は3cm以内に厚さをそろえてください。
 - ・食品は、できるだけ庫内中央に、均等に配置してください。
- ※解凍しかかっている食品は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- ※少量の食品（100g未満）は、煮えや変色のおそれがあるので、解凍はできません。



- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のしすぎに注意してください。

2 9 解凍（肉・魚）／10 刺身解凍ボタンでメニューを選ぶ

- ・ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



表示	ボタン	メニュー	加熱できる目安
メニュー 9	9 解凍(肉・魚)	解凍 (肉・魚)	約100～ 600g
メニュー 10	10 刺身解凍	刺身解凍	約100～ 600g

- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・温度・仕上がり調節つまみで量を設定する

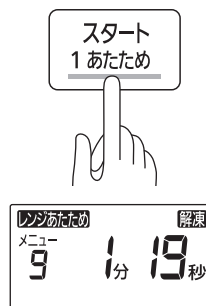
- ・100～600（g）の範囲で、100g単位で設定できます。

時間・温度・仕上がり調節



4 スタートボタンを押す

- ・解凍がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、解凍は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、解凍を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、解凍は停止します。
- ・解凍が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。
- ・解凍が足りないときは、追加解凍せず、室温や流水などで解凍してください。

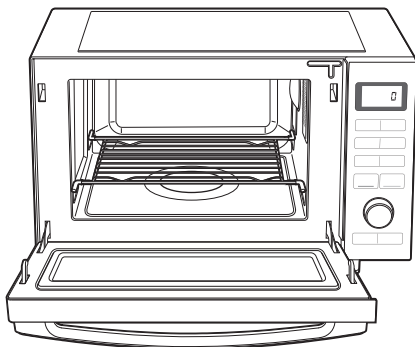
使いかた 自動メニュー（11 唐揚げ、12 ハンバーグ）

- 付属の角網・角皿・スチーム用カップ、及びクッキングシートを使用します。

※ 材料や手順など、詳しくはクッキングガイド（次ページ）をご覧ください。

1 角網をセットして扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。



2 11 唐揚げ / 12 ハンバーグ ボタンでメニューを選ぶ

- ・ ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。

9 解凍(肉・魚) 11 唐揚げ
10 刺身解凍 12 ハンバーグ



表示	ボタン	メニュー	加熱できる目安
メニュー 11	11 唐揚げ	唐揚げ	約100～400g
メニュー 12	12 ハンバーグ	ハンバーグ	約100～400g

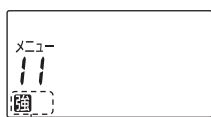
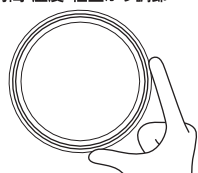
※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて時間・温度・仕上がり調節つまみで仕上がりを調節する

- ・ 時間・温度・仕上がり調節つまみを、左に回すと強に、右に回すと弱になります。

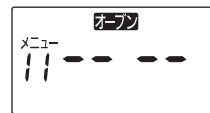
時間・温度・仕上がり調節



仕上がり調節表示

4 スタートボタンを押して予熱をスタートする

- ・ 予熱中は、表示部に「---」が動いて表示されます。

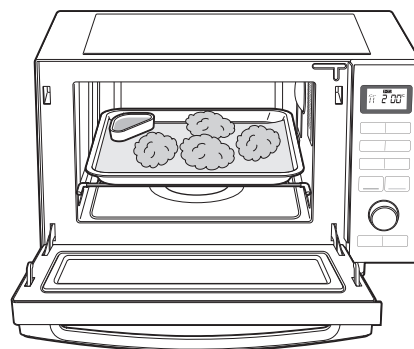


- ・ 予熱が完了すると、「ピーッ♪」と6回鳴って調理温度が点滅表示されます。



5 扉を開け、食品と水を入れたスチーム用カップを載せた角皿をセットして、扉を閉める

- ・ 角皿にクッキングシートを敷いて食品を並べ、スチーム用カップに水を入れて角皿の左奥にセットしてください。
- ・ 水は、約10g（小さじ2）入れてください。



6 スタートボタンを押す

- ・ 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・ 扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・ とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- ・ 加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。



注意

- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、角皿が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 自動メニュー（11 唐揚げ、12 ハンバーグ） つづき

■クッキングガイド

※ 材料は最大分量です。分量が選べるメニューは、人数分に応じて調節してください。

※ 容器の種類や大きさ、食材の温度によって仕上がりが異なることがあります。**仕上がり調節**／**温度設定**ボタンで調節してください。

※ 写真はイメージです。

唐揚げ



スチーム用カップ
水10mL

オーブン
200℃

自動メニュー
11

材 料 (4人前)

とりもも肉..... 400g 市販の唐揚げ粉... 袋記載の分量

作りかた

- 1 自動メニュー 11 唐揚げを選んで、**スタート**を押す。(予熱)
- 2 とりもも肉を一口大（1個約30g）に切り、唐揚げ粉をまぶす。10分ほどおいて、粉っぽさがなくなるまでなじませる。
- 3 角皿にクッキングシートを敷き、2の皮を上にして並べ、スチーム用カップに水を入れて角皿の左奥に置く。

4 お知らせ音が鳴って予熱が完了したら、角皿を角網の上にセットして、**スタート**を押す。

ハンバーグ



スチーム用カップ
水10mL

オーブン
200℃

自動メニュー
12

材 料 (4人前)

合びき肉（牛7：豚3）...350g 玉ねぎ...小1個（150g）
パン粉 20g 牛乳 大さじ3
卵 1個 塩 少々
ナツメグ..... 少々 こしょう 少々

作りかた

- 1 みじん切りにした玉ねぎを、バター（分量外）でうす茶色になるまでしっかり炒め、冷ます。
- 2 パン粉は牛乳につけてふやかしておく。
- 3 ボウルに、合びき肉と卵、塩、ナツメグ、こしょうを入れ、ねばりが出るまでよく混ぜ合わせる。

4 3に1と2を加えてよく混ぜ、4等分する

5 自動メニュー 12 ハンバーグを選んで、**スタート**を押す。(予熱)

6 予熱の間に、両手でキャッチボールをするように生地をたたいて空気を抜き、中央を軽くくぼませて、厚さ2cmの小判形に形を整える。

7 角皿にクッキングシートを敷き、6を並べる。

8 スチーム用カップに水を入れ、角皿の左奥に置く。

9 お知らせ音が鳴って予熱が完了したら、角皿を角網の上にセットして、**スタート**を押す。

自動メニュー一覧

※ レンジあたためは、50Hz・60Hzともに自動的に500W相当で出力されます。

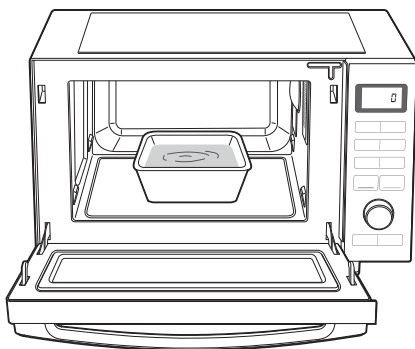
表示	メニュー	分量	加熱モード	加熱時間の目安			参照 ページ
				弱	中（通常）	強	
1	あたため	-	レンジあたため	30秒～ 5分			P16
2-1	トースト	1枚	グリル （スチーム用カップ使用）	4分30秒	5分	5分30秒	P17
2-2		2枚		5分	5分30秒	6分	
3	お弁当	約400g	レンジあたため	2分10秒	2分50秒	3分30秒	P18
4	お惣菜	約200g	レンジあたため	1分30秒	2分20秒	3分10秒	
5	牛乳・酒	1杯 （180mL）	レンジあたため	1分10秒	1分50秒	2分30秒	
6	コーヒー	1杯 （150mL）	レンジあたため	1分10秒	1分50秒	2分30秒	
7	葉野菜	100g	レンジあたため	2分			P19
		200g		2分40秒			
		300g		3分20秒			
8	根菜	100g	レンジあたため	3分			
		200g		4分			
		300g		5分			
9	解凍 （肉・魚）	100g	解凍	1分20秒			P20
		200g		2分			
		300g		3分			
		400g		5分			
		500g		7分			
		600g		9分			
10	刺身解凍	100g	解凍	1分30秒			
		200g		2分30秒			
		300g		3分30秒			
		400g		4分30秒			
		500g		5分30秒			
		600g		6分30秒			
11	唐揚げ	約100～ 400g	オープン 200℃ （スチーム用カップ使用）	22分	25分	28分	P21
12	ハンバーグ	約100～ 400g	オープン 200℃ （スチーム用カップ使用）	22分	25分	28分	

使いかた 手動メニュー（レンジ）

- レンジ加熱を使用します。付属の角網・角皿、金属の容器・スチーム用カップ、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

1 食品を入れて扉を閉める

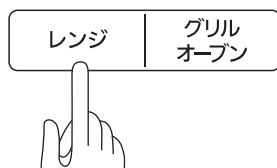
- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内にセットします。
- ・食品は、できるだけ庫内中央に、均等に配置してください。



- ※量が多いときは、少量ずつに分けて加熱してください。
- ※ごはんやカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ※ラップの使いかたについては、26ページをご覧ください。

2 レンジボタンで出力を選ぶ

- ・レンジボタンを押すたびに出力が切り替わります。



→ レンジあたため 強 → レンジあたため 弱
解凍 ←

- ・それぞれの出力は、電源周波数によって次のようになります

メニュー表示	出力表示	
	50Hz	60Hz
レンジあたため 強	500W	600W
レンジあたため 弱	400W	500W
解凍	200W	200W

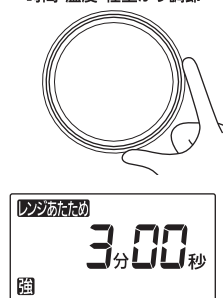
電源周波数はお住まいの地域によって異なります。不明な場合は、お住まいの地域の電力会社にお問い合わせください。

- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・温度・仕上がり調節つまみで加熱時間を設定する

- ・時間設定の表示に切り替わります。

時間・温度・仕上がり調節



- ・レンジあたため 強・レンジあたため 弱は30分まで、解凍は90分まで以下のように設定できます。

0～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30分～90分 (解凍のみ)	5分単位

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピーッ!」と5回鳴って出来上がりが表示されます。



注意

- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

■レンジあたための目安

あたため AC100V、60Hzの電源で **600W**で加熱する場合の目安です。

食品・食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
ハンバーグ	1個 (80g)	—	約1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたまま蒸らす
焼きとり	6本 (150g)	—	約1分	照りを出すため、先にたれを塗る
てんぷら・フライ	1人前 (150g)	—	約1分	キッチンペーパーやてんぷら敷き紙の上に、重ならないように並べる
 注意 ●いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個 (100g)	—	約1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前 (200g)	—	約1分30秒	加熱後かきまぜる また、ぱさついているときはサラダ油かバターを少しまぜる
ピラフ (冷凍)	1人前 (250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく
ごはん (冷凍)	1杯 (150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分	
おにぎり	1個 (80g)	—	約30秒	
まんじゅう	1個 (65g)	—	約20秒	あんが熱くなるので、控えめに加熱する
肉まん・あんまん	1個 (110g)	する	約40秒 (冷凍品は約1分～1分30秒)	底の紙を取って、さっと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む
 注意 ●あんまは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋 (230g)	する	約3分	両面に水をふりかける
みそ汁	1杯 (150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかきまぜる
煮物	1人前 (200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前 (200g)	する	約1分30秒	加熱後かきまぜる
丼もの	1人前 (350g)	する	約2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯 (200mL)	—	約1分30秒	加熱前と加熱後にかきまぜる
お酒 (常温)	1本 (180mL)	—	約1分	加熱前と加熱後にかきまぜる
茶碗蒸しのあたため	1個	—	30～60秒	様子を見ながら加熱する
ロールパンのあたため	2個 (80g)	—	約20秒	時間が経つと固くなるので、食べる直前に加熱する
今川焼き (冷凍)	1個 (90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル (冷凍)	100g	する	約1分30秒	
 注意 ●小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ふたをして加熱してください。 (にんじん50g+水50mLで約2分)				
里いも (冷凍)	300g	—	約10分	

使いかた 手動メニュー（レンジ） つづき

ラップの使いかた

ラップをするもの

- ・ 煮物、蒸しもの、汁もの、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・ 具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

ラップをしないもの

- ・ ごはんもの、揚げもの、焼きもの、炒めものなど、水分を飛ばし気味にしたい場合

- ・ ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に沿わせます。余裕がないと破れることがあります。
- ・ 油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので注意してください。

ゆで野菜 AC100V、60Hzの電源で 600Wで加熱する場合の目安です。

食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
じゃがいも さつまいも	150g	する	約3分	まるごと加熱するときは、庫内中央を避けて置く
にんじん	200g	する	約6分	用途に合わせて切り、容器に入れてひたるくらいの水を加え、ふたかラップをする
だいこん	200g	する	約4分	大きさをそろえる
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	太い芯はあらかじめそいでおく
ほうれん草	200g	する	約2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む
カリフラワー ブロッコリー	200g	する	約2分30秒	小房に分け、あらかじめ食塩水につけておく
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく

※ ゆで野菜は、自動メニューでも、簡単に作れます。（→P19）



警告

- 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

使いかた 手動メニュー（グリル）

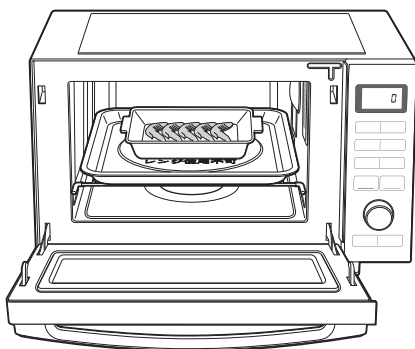
- ヒーター加熱（グリル）を使用します。使用可能な容器については、8～9ページをご覧ください。

手動で時間を設定してグリル調理します。

※ 温度は設定できません。手動で時間を設定して調節してください。

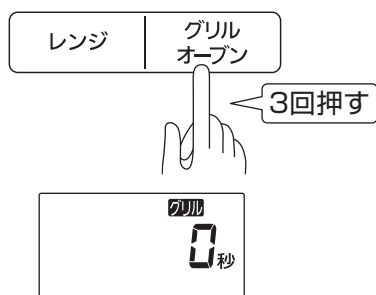
1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・角網は、凸部を下に向け、シリコンのクッション部を庫内の角網受けに載せてください。
- ・食品は耐熱皿に入れて角皿に載せ、角皿を角網の上にセットします。



2 グリル／オーブンボタンを3回押す

- ・グリルが表示され、加熱時間の設定表示になります。

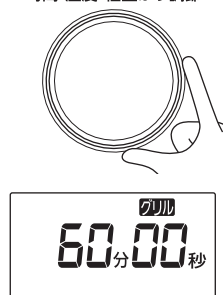


※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・温度・仕上がり調節つまみで加熱時間を設定する

時間・温度・仕上がり調節

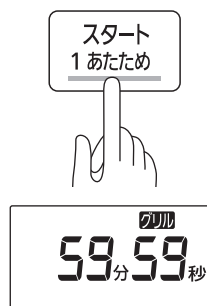


- ・時間は95分まで以下のように設定できます。

0～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30分～95分	5分単位

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- ・加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。



注意

- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 手動メニュー（オーブン）

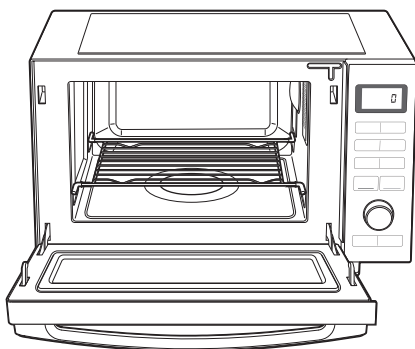
- ヒーター加熱（オーブン）を使用します。使用可能な容器については、8～9ページを参照してください。

■予熱ありの場合

手動で温度と時間を設定してオーブン加熱します。予熱をして庫内温度を上げてから調理をします。

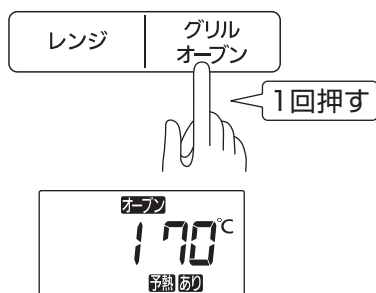
1 角網をセットして扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・角網は、凸部を下に向け、シリコンのクッション部を庫内の角網受けに載せてください。



2 グリル／オーブンボタンを1回押す

- ・オーブン・予熱・ありが表示され、温度の設定表示になります。



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・温度・仕上がり調節つまみで温度を設定する

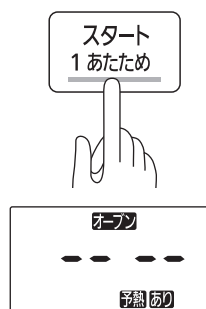
- ・110～200℃の範囲で、10℃単位で設定できます。

時間・温度・仕上がり調節



4 スタートボタンを押して予熱をスタートする

- ・予熱中は、表示部に「-- --」が動いて表示されます。

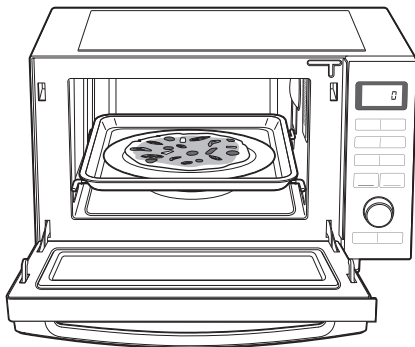


- ・予熱が完了すると、「ピーッ ♪」と6回鳴って設定した温度が点滅表示されます。



5 扉を開け食品を載せた角皿をセットして、扉を閉める

- 扉を開けると、時間設定の表示になります。
- 食品は耐熱皿に入れて角皿に載せるか、角皿にクッキングシートを敷いてその上に載せ、角皿を角網の上にセットします。



※ 扉を開けないと5分後に加熱が終了します。

6 時間・温度・仕上がり調節つまみで加熱時間を設定する

時間・温度・仕上がり調節

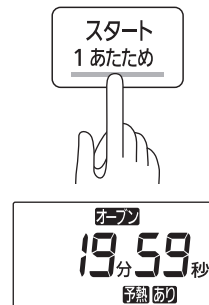


- 時間は95分まで以下のように設定できます。

0～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30分～95分	5分単位

7 再度スタートボタンを押して調理をスタートする

- 残り時間が表示されます。



- 扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- 加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って**出来上がり**が表示されます。



注意

- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

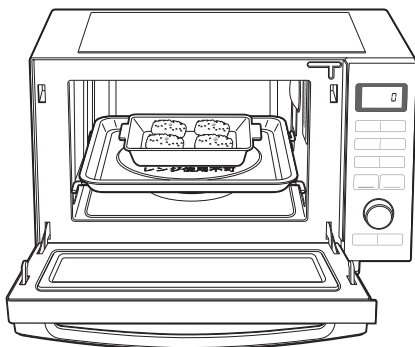
使いかた 手動メニュー（オーブン） つづき

■予熱なしの場合

手動で温度と時間を設定してオーブン加熱します。

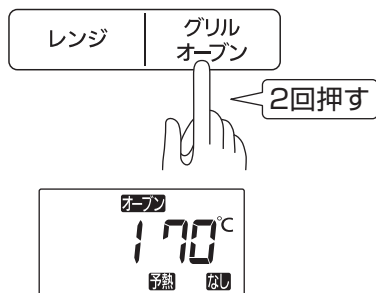
1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・角網は、凸部を下に向け、シリコンのクッション部を庫内の角網受けに載せてください。
- ・食品は耐熱皿に入れて角皿に載せ、角皿を角網の上にセットします。



2 グリル／オーブンボタンを2回押す

- ・オーブン・予熱・なしが表示され、温度の設定表示になります。

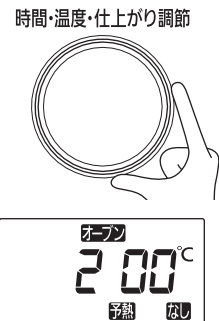


※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

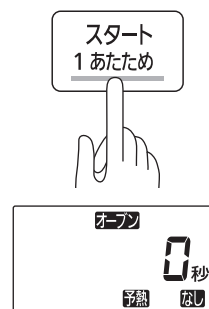
3 時間・温度・仕上がり調節つまみで温度を設定する

- ・110～200℃の範囲で、10℃単位で設定できます。



4 スタートボタンを押す

- ・加熱時間の設定表示になります。



5 時間・温度・仕上がり調節つまみで加熱時間を設定する



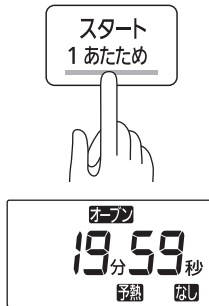
- ・時間は95分まで以下のように設定できます。

0～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30分～95分	5分単位

お手入れ

6 再度スタートボタンを押して調理をスタートする

- ・残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピーッ♪」と5回鳴って出来上がりが表示されます。



注意

- 加熱中・加熱直後は、ガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。



警告

- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



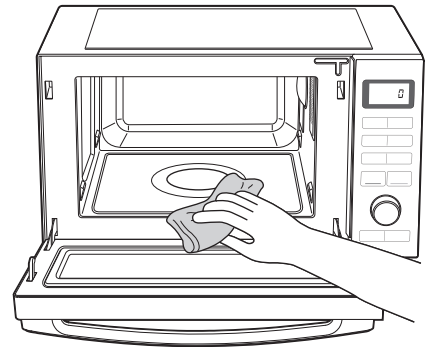
注意

- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食品の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジン、ガラスクリーナー、クレンザーなどは使用しないでください。傷が付いたり、色がはげたりすることがあります。

本体・庫内

よくしぼったふきんで拭く



注意

- 庫内は汚れが付いたままにしないでください。火災の原因になります。

角網・角皿・スチーム用カップ

薄めた台所用洗剤で洗い、水で流す

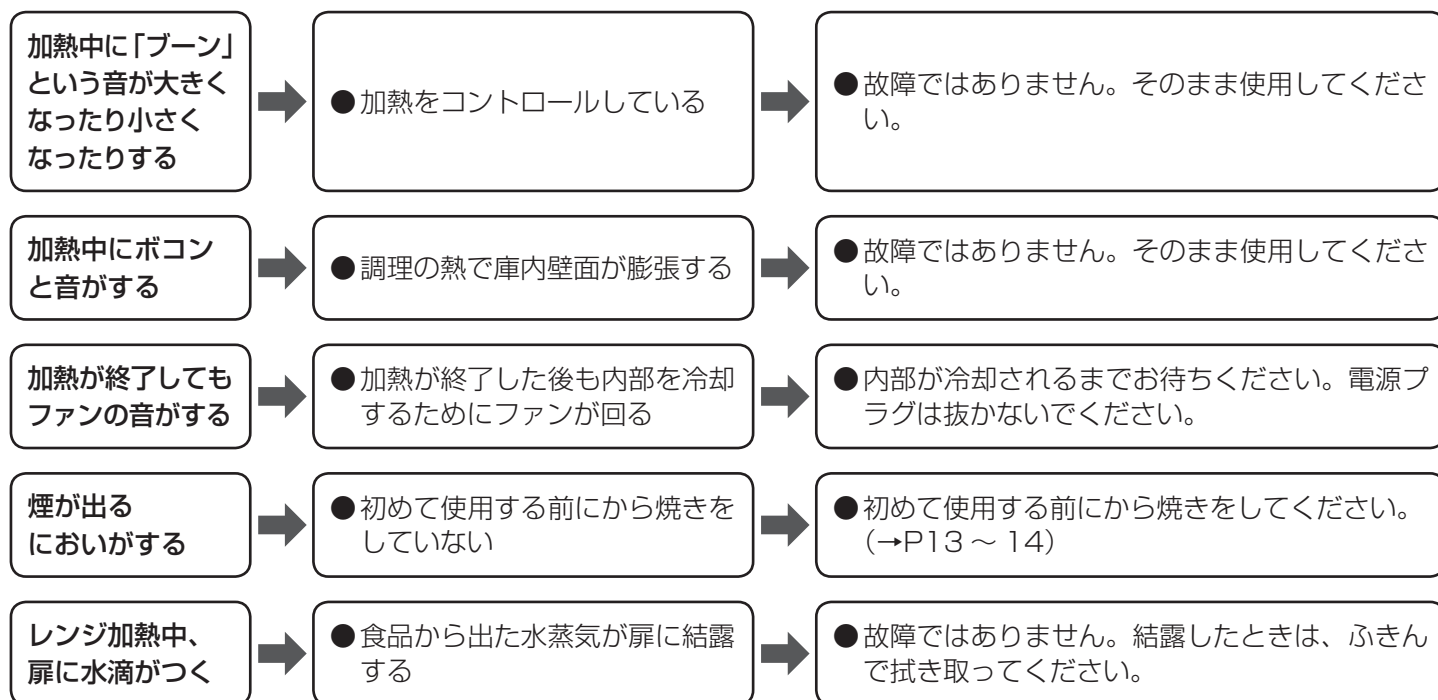
- ・洗った後、よく乾かしてください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
扉を開けても、電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 電源ブレーカーが入っていない	● 安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
ボタンを押しても反応しない	● 電源が切れている（表示が消えている）	● 扉を開けて電源を入れてください。（→P15）
加熱中に電源が切れる（ブレーカーが切れる）	● 使用できる電力の量を超えている	● 他の電気製品のスイッチを切る、別なブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	● 扉がしっかり閉まっていない	● 扉をしっかりと閉めてください。
動作しない エラー表示：E01	● 設定した温度よりも庫内温度が高くなっている	● とりけしボタンを押して扉を開け、庫内を冷ましてから使用してください。
動作しない エラー表示：E02、E03	● 製品が故障している	● 使用を中止し、修理専用コールへご連絡ください。
1分ごとに、「ピーッ」と5回鳴る	● 調理後、食品を取り忘れている	● 扉を開けると音は止まります。庫内の食品を取り出してから、扉を閉めてください。（→P6）
解凍するとむらが出て、一部が煮えてしまう	● 食材が半解凍されていた	● 食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。（→P20）
食品があたたまらない	● 庫内や容器に水滴が付いている	● 水滴に熱が吸収されると食品が十分にあたまりません。水滴が付いている場合は拭き取って使用してください。
火花が出る	● アルミホイルを使用している	● レンジ加熱ではアルミホイルは使用しないでください。（→P9）
	● 金銀模様のある容器を使用している	● 金銀模様のある容器は使用しないでください。（→P9）
	● 庫内に食品かすなどが付着している	● 庫内をお手入れしてください。（→P31）



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC 100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
レンジ	定格消費電力	900W	1,250W
	定格高周波出力	500W	600W
	発振周波数	2,450MHz	
	タイマー	10秒～30分（600W、500W、400W）、 10秒～90分（200W）	
グリル・オープン	上ヒーター	石英管ヒーター 500W	
	下ヒーター	シーズヒーター 400W	
	定格消費電力	930W	
	温度調節（オープン）	110～200℃	
	タイマー	10秒～95分	
外形寸法（ハンドル・突出部を除く）		幅470×奥行360×高さ294mm	
加熱室の有効寸法		幅280×奥行292×高さ180mm	
庫内総容量※1		約18L	
製品質量		約15kg	
区分名※2		B：オープンレンジ（ヒーターの露出があるもので30L未満のもの）	
電子レンジ機能の年間消費電力量※3		65.2kWh／年	64.1kWh／年
オープン機能の年間消費電力量※3		5.3kWh／年	
年間待機時消費電力量※3		1.6kWh／年	
目標年間消費電力量※3		72.1kWh／年以下	71.0kWh／年以下

※1 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※2 区分名は、家庭用品品質表示法及び省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※3 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食品の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続した状態で、表示部が消灯しているとき（待機時）の消費電力は0Wです。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用のオープンレンジの点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● ボタンを押しても、加熱しないときがある ● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする ● 電源コードに破れがある ● 扉にがたや変形がある ● 触れるとピリピリ電気を感じる ● その他の異常や故障がある ご使用中止 故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

スチームオーブンレンジ MO-F1806

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
		※付属品（角皿・角網・スチーム用カップ）を除く	
お 客 様	お名前		※ 販 売 店
	ご住所 〒		
	住所・店名		
電話（ ） -		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください